

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会

平成28年度 事業報告

少子高齢化や都市化の進行、人口減少社会への突入といった社会構造の変化を背景に、地域社会や家族のあり様が大きく変化する中、公的な制度に基づくサービスや支援だけでは対応できない深刻な生活課題が地域の中でも顕著になってきている。

このような課題に適切に対応していくために、社会福祉の制度や仕組みについての様々な変革が求められている。

国では、社会福祉法人制度改革に向けた取組みが進められており、この動きを受け、本会においても、法人としての基盤整備や他の福祉施設・事業所等との協働を推進した。

また、第5期地域福祉活動計画の策定を完了し、「地域福祉ソーシャルワーカー」の機能強化、多様な生活支援サービスの創出や、シニア世代の社会参加促進、権利擁護の取組みの充実等に努めた。

さらに、各種相談や、地域福祉ソーシャルワーカーの活動を通して、住民の抱える福祉課題・生活課題を把握し、関係機関等と連携しながら、その解決に向けて、支援を行った。

28年度の主な実施事業は、以下のとおりである。

【重点項目】

1 小地域福祉活動の推進

(1) 校区社会福祉協議会強化への支援

2 ボランティアによる社会参加の拡大

- (1) 社協ボランティアセンターの機能強化
- (2) シニアボランティアに関する取組みの拡充
- (3) 企業市民育成事業の実施《新規》

3 生活課題解決モデルの開発

- (1) 移動支援・買い物困難者支援の仕組みづくり
- (2) 市民が支える住み続ける仕組みづくり（住まいサポートふくおか）
- (3) 「地域の子ども」プロジェクト《新規》

4 拠点型地域福祉の推進

- (1) 社会福祉法人（施設や事業所を運営する）による地域における公益的な取組みに向けての協働
- (2) 遺贈と空き家の活用による地域福祉の拠点づくり

5 地域福祉ソーシャルワーカー（CSW）の機能強化

- (1) CSW配置体制の強化
- (2) 生活支援コーディネーター業務の実施によるCSWの機能強化《新規》

6 権利擁護事業の拡充

- (1) 福岡市社協が目指す市民の「権利擁護」

7 地域福祉を推進するための基盤づくり

- (1) 福祉教育推進計画に基づく福祉教育関連事業の見直し
- (2) 地域福祉活動における個人情報共有化の推進

8 生活困窮者への支援の推進

生活困窮者への課題解決に向けた関係機関との連携

重点項目

※特に記載がない場合、文中、グラフ・表中の数値は平成29年3月31日現在のもの。

1 小地域福祉活動の推進 (111,106千円)

(1) 校区社会福祉協議会強化への支援

住み慣れた地域で、誰もが自分らしく安心して暮らせる「ともに支えあう福祉のまち」をめざし、校区社協を中心とした地域福祉活動を推進した。

① 地域特性に応じた福祉活動の展開

地域課題やその解決策を住民が主体的に話し合い、自ら目標を定め実践につなげる方法として「校区福祉座談会」などを開催するとともに、その内容をより多くの住民で共有するため、8校区で「校区福祉のまちづくりプラン」策定を支援した。これまでに市内22校区で策定を支援している。

② 校区社協の基盤をなす活動の拡充

ア ふれあいネットワーク活動の拡充

一人暮らしの高齢者など、支援を必要とする人々が地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民や関係団体が連携して、日常的な見守りなどの支援体制づくりに取り組む「ふれあいネットワーク活動」の更なる拡充に向け、平常時の見守り活動を可視化し、災害時の避難誘導等の仕組みとの連動を図る取組みを、区社協とともに支援した。また、福岡市地域保健福祉振興基金等を財源として、活動費を助成した。

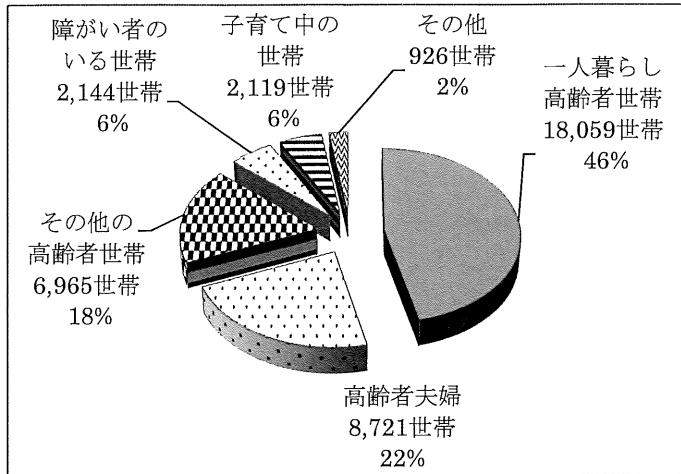
《実施自治会(町内会)率 80%》

[助成額] 18,339,901円

[活動状況] ※()は前年比の数字

区	校区数	実施 校区数	助成 校区数	実施 自治会数	助成 自治会数	対象世帯数	ボランティア(人)
東	28	27 (1)	27 (1)	376 (5)	376 (9)	8,746 (1,039)	2,944 (158)
博多	22	21	21	310	308 (△2)	5,083 (319)	1,641 (273)
中央	14	13	11	290 (6)	266 (4)	4,071 (△824)	867 (△60)
南	25	24	24	294 (△1)	295	6,195 (1,317)	2,261 (192)
城南	11	11	11	152 (2)	151 (1)	3,212 (416)	1,489 (60)
早良	24	23	21	258 (2)	238 (7)	5,844 (377)	1,840 (142)
西	23	21	21	159 (4)	159 (4)	5,783 (159)	1,840 (39)
合計	147	140 (1)	136 (1)	1,839 (18)	1,793 (23)	38,934 (2,803)	12,882 (804)

〔ふれあいネットワーク事業対象世帯内訳〕



〔活動内容内訳〕 ※重複あり

活動内容		世帯数
安否確認・声かけ・話し相手		36,762
保健福祉サービスの紹介		2,971
生活の支援	ゴミ出し	547
	電球の取り替え	219
	買物代行・薬取り	176
	家事援助(掃除・洗濯・炊事など)	148
	外出援助(通院・買物付添など)	269
	急用時の子どもの送り迎え・預かりなど	38

イ ふれあいサロン活動の拡充

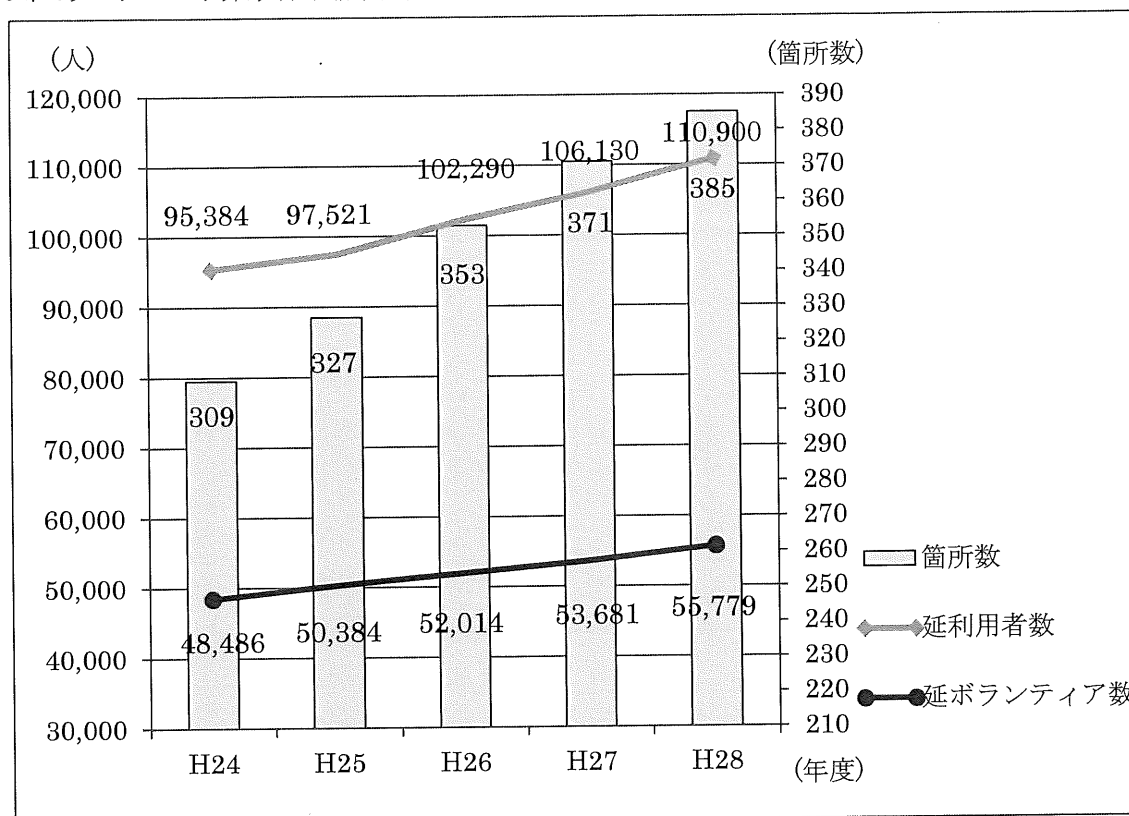
一人暮らしや身体機能の低下等により家に閉じこもりがちな高齢者等の引きこもりの解消や認知症・介護予防等を目的として、地域のボランティアが公民館や集会所等でレクリエーションや健康体操、仲間づくり・交流・ふれあいの場を広げる「ふれあいサロン活動」の拡充を支援した。特に、地域の実情に応じて、ふれあいサロン活動の介護予防機能の強化に向けた働きかけを行った。また、福岡市地域保健福祉振興基金を財源として、活動費を助成した。

〔助成額〕22,088,952円

〔活動状況〕 ※()は前年比の数字

区	校区数	助成校区数	助成箇所数	延利用者数	延ボランティア数(人)
東	28	27	81 (3)	24,240 (252)	12,030 (△169)
博多	22	19	44 (2)	14,624 (688)	5,762 (379)
中央	14	13	27 (3)	4,897 (516)	3,129 (309)
南	25	24	44	13,240 (758)	6,438 (93)
城南	11	11	44 (△2)	10,091 (448)	5,371 (38)
早良	24	24	62 (6)	20,641 (1,941)	12,008 (1,497)
西	23	23	83 (2)	23,167 (167)	11,041 (△49)
合計	147	141	385 (14)	110,900 (4,770)	55,779 (2,098)

[ふれあいサロン事業助成箇所数、延ボランティア数、延利用者数の推移]



③ 超高齢社会・大介護時代の到来に備える活動の拡充

ア 生活支援ボランティア活動支援事業

○ 生活支援ボランティアグループの支援

日常の“ちょっとした困りごと”のお手伝いを、身近な地域で行う「生活支援ボランティアグループ」を区社協とともに支援した。(活動団体数 31団体)

○ 生活支援ボランティアグループの立ち上げ支援

生活支援ボランティアグループの立ち上げに際し、情報提供や既存のグループから助言を受ける場のコーディネートなどを行った。

「あんしんサービス創造モデル事業」により、グループ立ち上げ時の初期費用を助成した。(9団体 812,577円)

イ 生活支援サービス創造モデル事業 (福岡市委託事業)

○ 活動事例集の作成

生活支援ボランティアグループ(全31団体)へのヒアリングを基に、団体の概要、申込みからボランティアを手配するまでの手法、団体の特色、課題、今後の展望等、具体的な活動内容や運営内容を掲載した事例集を作成した。

ヒアリングの時に、活動者の疑問や問題意識等について、他団体の事例紹介やアドバイスをを行った。

○ 生活支援ボランティアグループの研修会及び意見交換会の開催

生活支援ボランティアグループと、活動を検討している団体を対象に、先進地事例を学ぶとともにお互いの活動状況や課題等の意見交換を行った。

実施日	講師	参加者(人)
10月17日	沖代すずめ:吉田氏 おたすけ隊「えぷろん」:岩井氏	38
2月8日	あしたばの会:原氏(両日とも)	24
2月16日	若久おたすけ隊:鷹尾氏(8日) ささえ愛たい:塚氏(16日)	32

ウ 在宅介護者のつどい事業

○ 家族介護者のつどいの実施（一部福岡市委託事業）

家庭で寝たきり高齢者、認知症高齢者や障がい者を介護している家族を対象に、日頃の悩みや体験についての意見交換や介護者同士の交流、心身のリフレッシュを目的とした集いを21か所で実施した。

区	校区・町内・団体	実施日	会場	参加者(人) (介護者のみ)
東	千早西	8月18日	千早西公民館	6
	香陵	10月31日	香陵公民館	10
	香椎浜	①9月1日 ②10月6日	香椎浜公民館	①4 ②10
	小規模多機能連絡会	1月20日	なみきスクエア	11
博多	那珂南(西春町)	5月27日	西春町会館	7
		11月11日		8
	東月隈(下月隈団地)	11月30日	下月隈団地集会所	14
	弥生	10月21日	弥生公民館	4
	東光	12月16日	東光会館	17
	春住	2月14日	春住公民館	10
中央	小笹・平尾	10月19日	いこいの郷 小笹	6
	草ヶ江	6月30日	草ヶ江公民館	20
南	野多目	11月2日	野多目公民館	13
	横手	1月21日	横手公民館	8
	東若久・筑紫丘	3月11日	うらた整形メディカルデイ 若久の杜	13
城南	七隈	5月28日	七隈公民館	5
		9月25日		3
		1月27日		4
早良	野芥	毎月1回 (第3金曜日)	野芥公民館	3
	飯原	毎月第1水曜日	飯原公民館	2
	大原	10月12日	大原公民館	12
西	周船寺	2月6日	周船寺公民館	8
	今宿(上ノ原町相原地区)	10月18日	堀の内集会所	8

○ 男性家族介護者のつどい「手軽にできる料理教室」(福岡市委託事業)

実施日	内容	参加者(人)
10月4日	男性の家族介護者を対象に、自宅で手軽にできる料理の講座と介護者同士の意見交換・懇談会を実施。	8

○ 家族介護者のつどい～心と体の健康講座(福岡市委託事業)

実施日	内容	参加者(人)
3月9日	日頃の介護から少し放れ、介護者自身の心と体の健康に目を向ける機会として、健康づくりに関する講座と介護者同士の意見交換・懇談会を実施。	23

○ 認知症高齢者の見守りの仕組みづくり

認知症高齢者の地域での生活を支えるため、福祉施設・事業所等と連携し、地域住民だけでは解決が難しい認知症高齢者への相談・対応や、福祉や介護に関する相談などを行う事業に取り組むとともに、日頃の見守り活動や認知症高齢者声かけ訓練などでの連携を進め、地域全体で認知症高齢者を見守る仕組みを作った。

④ 新任校区社協会長研修会

校区社協会長に必要とされる基礎的な地域福祉の知識を提供するとともに、先進的な小地域福祉活動の事例を紹介することにより、校区社協活動の活性化を図ることを目的とした研修会を実施した。

実施日	内容	参加者(人)
7月15日	・講話:「校区社協に求められるもの ～社協がめざす地域福祉の方向性と重点事業について～」 ・事例発表: 東区三苦校区社協会長 飯田 信義氏 早良区入部校区社協会長 樋口 昭雄氏	32

2 ボランティアによる社会参加の拡大

(40,030千円)

(1) 社協ボランティアセンターの機能強化

ボランティア活動における課題解決力の向上と活動者やグループの増加を目指し、各種団体との連携により、活動の裾野を広げる取組みを進めた。

[グループ登録数の推移]

	26年度	27年度	28年度
グループ数	161	166	180

[28年度新規登録ボランティアグループ19グループうち、登録要件の見直しによって登録が可能となったグループ(重複あり)]

法人格を有するもの	社会福祉以外の分野	有償の活動
4	3	4

(2) シニアボランティアに関する取組みの拡充

① シニア地域サポーター養成事業

地域福祉活動の新たな担い手を養成する講座を、市及び区ボランティアセンターで開催し修了者を地域の福祉活動に繋いだ。

区	内容	受講者(人)	活動開始者(人)
市	知的障がい者発達障がい者支援	26	24
東	傾聴ボランティア養成	38	13
博多	ふれあいサロンボランティア養成	16	15
中央	認知症講話、助け合いゲーム、活動者との交流	7	4
南	傾聴とコミュニケーション、活動者の講話	15	10
城南	レクdeボランティア講座	9	7
早良	傾聴ボランティア養成	20	16
西	こども支援ボランティア養成	10	6
合計		141	95

② シニアアシストふくおか

シニア世代(50代以上)に様々な地域活動やボランティアの団体情報を提供し、セカンドライフを支援した。また、シニアが活躍しているボランティアグループの育成、支援を行った。

ア 講座等の開催

実施日	内容	受講者(人)	備考
10月15日～12月3日 (全8回)	傾聴ボランティア入門講座	20	修了生有志でグループを結成、高齢者施設で活動中
1月20日	傾聴ボランティアグループ交流会	33	傾聴ボランティアグループ8団体

イ イベントへの参加

実施日	内容
10月6日	高齢者のためのしごと・ボランティア合同説明会
3月11日	アラカンフェスタ

③ 介護支援ボランティア事業(福岡市委託事業)

高齢者(65歳以上)の社会参加、生きがいづくりや介護予防をすすめるため、介護保険施設等でのボランティア活動を奨励した。また、活動により付与されたポイントを、換金又は寄付に活用していただいた。

[活動者の状況]

28年12月末現在

個人登録者(人)	1,971	
登録施設(箇所数)	461	
28年中の活動者(ポイント所有者)	934(登録者の47%)	
換金申請者	人数	金額
奨励金交換者	580人	1,999,600円
寄付者	156人	329,400円
申請者合計	736人	2,329,000円

※1日1時間以上の活動=200ポイント=200円に換金。換金の上限は5,000円。

[活動内容]

28年1月～12月累計

活動種別	延活動者(人)	活動種別	延活動者(人)
レクリエーション・囲碁将棋	6,019	食事介助の補助	567
芸能	5,171	行事の手伝い	287
話し相手	3,288	入浴介助の補助	83
清掃・衣類整理	622	その他	922
		合計	16,959

(3) 企業市民育成事業の実施《新規》

企業を地域課題の担い手になりうる社会資源のひとつとして捉え、企業などによる社会貢献活動を働きかけた。また、地域におけるインフォーマル活動の活性化を図るため、地域貢献活動プログラムの情報を収集整理・開発し、地域協働コーディネートの機能について提案するため、事例集・ガイドブックを作成した。

3 生活課題解決モデルの開発

(9,608千円)

(1) 移動支援・買物困難者支援の仕組みづくり

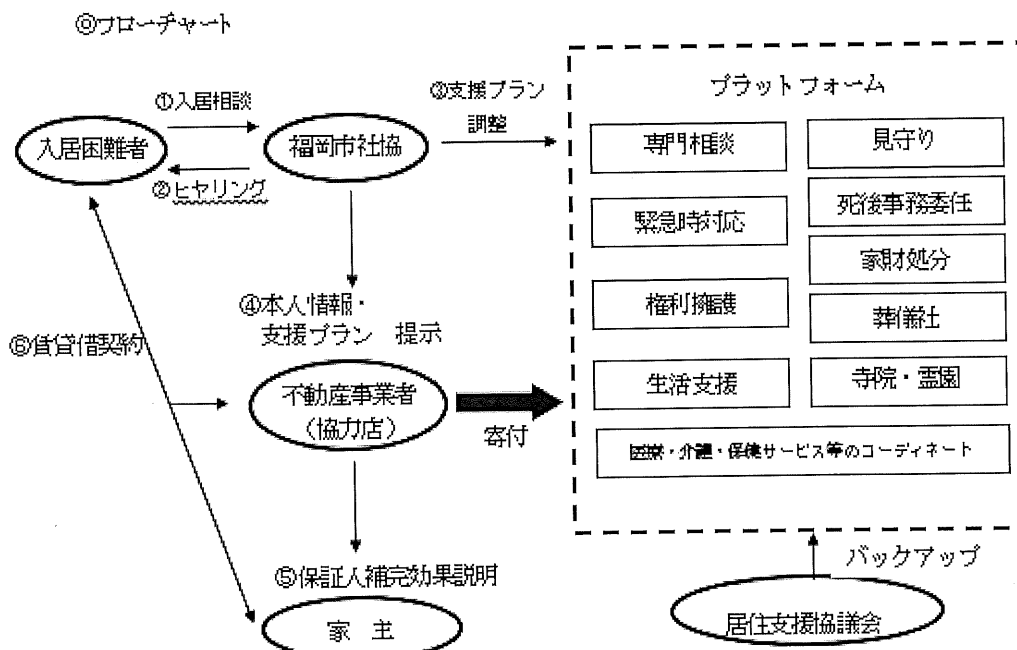
地域との協働による移動支援モデル事業（福岡市委託事業）

持続可能な移動支援策を検証するため、公共交通機関の利用が難しく買い物などの移動が困難な高齢者等が多い地域を公募の上、香住丘校区を選定し、車両を無償で貸し出した。

これにより住民主体の生活支援サービスや地域活動の実態や住民ニーズを把握し、運行の組織体制、計画、経費等の実証を行った。

(2) 市民が支える住み続ける仕組みづくり（住まいサポートふくおか(福岡市受託事業)）

厚生労働省のモデル指定を受けた「福岡市高齢者住まい・生活支援モデル事業(住まいサポートふくおか)」(福岡市受託事業)により、住宅の確保に困窮する高齢者世帯への入居支援と入居後の生活支援をコーディネートした。また、民間賃貸住宅への入居に協力する不動産会社を「協力店」、入居中の様々な生活支援を担う団体を「支援団体」として登録し、「プラットフォーム」の構築を推進した。



【居住支援協議会】

これまで、福岡市居住支援協議会の場で住宅困窮者に関する情報共有や本事業の活動報告を行ってきた。29年度からは、本事業を福岡市居住支援協議会の事業と位置づけ、市社協と福岡市が共同事務局となり国土交通省と福岡市から補助金を得て運営することとなった。福岡市居住支援協議会は、福岡市住宅都市局や保健福祉局、住宅供給公社、UR、全日本不動産協会、県宅地建物取引業協会、市社協が委員となり、住宅困窮者や民間賃貸住宅に関する情報共有や円滑入居のための支援策を検討する組織である。

協力店登録社数	支援団体登録数	相談受付数	賃貸借契約締結数
30社(※)	14団体(※)	112件	58件

※26年度からの累計数

〔プラットフォーム連絡会議〕

実施日	内容
11月17日	事業進捗報告、情報共有、意見交換等

〔事業検証委員会〕

実施日	内容
2月1日	事業進捗報告、来年度の事業課題等

(3) 「地域の子ども」プロジェクト《新規》

経済的に困窮している子育て中の世帯や、地域住民との関係が薄く孤立して生きづらさを抱えている世帯等の課題解決に向け、「地域と子育て」「地域と教育」という視点から、子ども分野における地域福祉としての実践モデルの構築を目指すとともに、子どもに焦点を当てた支援ノウハウの蓄積を進めるプロジェクトに、区社協とともに取組み、地域住民や施設、大学、グリーンコープ、フードバンク等、多様な主体による取組みを支援した。

〔区社協が支援した居場所づくり〕

区	校区・地区	名称	主な機能		
			居場所	食事提供	学習支援
東	箱崎	ぼあんの樹 / 2丁目ランチ	○	○	○
	舞松原	舞♡my キッチン	○	○	○
	美和台	ななカフェ	○	○	○
	美和台	子育てサロンのんびり	○		
	香椎浜	ぼてとはうす	○	○	○
	城浜	カモメの城	○	○	○
	三苦	寺子屋	○		○
博多	大浜	おおはま寺子屋	○		○
中央	天神	キラキラえがお Fukuoka	○	○	○
	大名	グランマキッチンカフェ	○	○	○
南	長住団地	子ども勉強広場	○	○	○

	三宅	ハレルヤ食堂	○	○	○
	西高宮	こひつじの園ランチカフェ	○	○	○
	長丘	自習室ながおか	○		○
城南	七隈	ななっこ料理道場	○	○	
西	姪北	わいわい子ども食堂	○	○	
	壱岐東	こども食堂壱岐東	○	○	
	周船寺	赤ちゃんパパ・ママの広場	○		

4 拠点型地域福祉の推進 (2,299千円)

(1) 社会福祉法人(施設や事業所を遷す)による地域における公益的な取組みに向けての協働

社会福祉法等の一部改正において、社会福祉法人による「地域における公益的な取組み」が責務として規定されたため、区社協と連携し、地域のニーズを把握・整理し、福祉施設・事業所を運営する社会福祉法人や事業所連絡会等に情報を提供するとともに、地域で求められている福祉サービス等についての提案等を行った。

① 個別解決モデル創造事業

社会福祉法人等との協働により「買い物困難者支援」や「移動困難者支援」、「地域カフェ」、「認知症徘徊高齢者発見時相談対応」等の取組みを拡充した。

② 専門スタッフ派遣事業

ふれあいサロンや子育てサロン・サークル、校区社協の福祉講座等に対し、病院スタッフ、理学療法士、保育士、企業の出前講座などの専門スタッフの派遣を243件コーディネートした。

(2) 遺贈と空き家の活用による地域福祉の拠点づくり

① 社会貢献型空き家バンク事業

増加する空き家の地域密着型の居場所や住まいづくり、福祉活動の拠点づくりでの活用を進めるため、建築や税務・法務などの課題に専門家がワンストップで対応する窓口の設置、コーディネーターの育成、相談受付や空き家のニーズを発信するWEBサイトの準備を進めた。

空き家の情報や活用希望者の収集に向け、地域に働きかけるとともに福祉施設関係者などと活用の検討会議を開催した。また課題解決や事業スキーム構築のため、弁護士や司法書士、税理士、建築士等からなる会議を行った。

② 「遺贈」リーフレットの作成

遺贈に関する相談が増えているが、一般市民に浸透はしていない。今後さらに遺贈ニーズが高まることが予想されるため、遺贈について積極的に広報し、活用していただけるよう遺贈のリーフレットを作成し、県司法書士会、弁護士会、行政書士会、信託銀行、公証役場等へ配布した。

5 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化 (256,948千円)

(1) CSW配置体制の強化

28年度から、区社協校区担当職員全てをCSWと位置付けた。CSWのモデル配置において培った地域支援のノウハウの共有や、区社協間での情報共有等を積極的に行いながら、地域における多様な形の助け合い活動の創出・拡充に取り組んだ。

- (2) 生活支援コーディネーター業務（委託事業）の実施によるCSWの機能強化《新規》
福岡市が地域包括ケア推進のため、「生活支援体制整備事業」として先行実施している第2層生活支援コーディネーター業務4包括圏域のうち2圏域を受託した。

生活支援コーディネーター業務では、CSWの実践で培った地域支援のノウハウや地縁組織・ボランティアとの密着した関係性という強みを活かし、地域における生活課題の把握や事業者等の地域への参画を働きかけること等により、社会資源の創出を支援するとともに、地域資源の情報を地域住民に提供する等、高齢者の地域での自立した生活を支える体制の構築を進めた。

また、生活支援コーディネーター業務を経験することにより、区社協のCSWの役割機能の強化を図った。

6 権利擁護事業の拡充

(123,936千円)

(1) 福岡市社協が目指す市民の「権利擁護」

① 利用者の自立に向けた支援 ～日常生活自立支援事業～

認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人の権利を擁護することを目的に、地域で自立した生活ができるよう福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを、契約に基づいて行った。

[対応件数] (件)

新規相談受付	280
調査	197
新規契約	121
累計契約(平成12年1月～)	1,546

※事業開始からの累計解約件数 1,035 件(死亡・施設入所等による)

[現契約件数] 511件 (件)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他
259	92	158	2

② ずーっとあんしん安らか事業

近くに親族がいない高齢者が安心して生活できるよう、契約に基づき、定期的な見守りや入退院の手伝いなどを行うとともに、契約者が死亡した場合には、事前に預かった預託金で葬儀・家財処分等の死後事務を行った。

[対応件数] (件)

相談	98
新規契約	8
現契約	79
葬儀・家財処分実施	4
解約	0

③ 高齢者賃貸住宅入居支援事業

民間賃貸住宅や都市再生機構(UR)に居住する高齢者が安心して生活できるよう、定期的な見守りサービスや住居退去時のサービス等を行った。

※平成22年度末に新規受付終了。以後の相談は「ずーっとあんしん安らか事業」へ移行した。

[対応件数] (件)

現契約	35
葬儀・家財処分実施	2
解約	12

④ やすらかパック事業《新規》

「ずーっとあんしん安らか事業」の預託金を用意できない高齢者の死後事務を毎月の利用料の支払により実施できるよう、保険会社や死後事務執行を委託するNPO 法人と協議をすすめ、29年度の事業開始に向け準備をした。

⑤ 市民による成年後見制度の推進

「日常生活自立支援事業利用者」及び「ずーっとあんしん安らか事業」「高齢者入居支援事業」契約者のうち、判断能力の低下により後見人等による支援が必要になった人を対象に、法人後見を受任した。

後見業務は、「福岡市市民後見人養成研修」を修了し、「市民参加型後見人バンク」に登録した「市民参加型後見人」が実務の一部を担った。また、市民参加型後見人の活動を推進するため、スキルアップ研修を実施した。

[法人後見受任内訳件数] (件)

新規受任	累計受任	現受任数		
		認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者
9	62	40	4	1

[市民参加型後見人バンク登録者] 49人

[市民参加型後見人活動者数] 28人

[スキルアップ研修]

実施日	内容	参加者(人)
10月4日	成年後見制度利用促進法 成年後見関係事件の概況	35
10月25日	市民参加型後見人実践報告①グループワーク	36
11月16日	市民参加型後見人実践報告②グループワーク	34
11月28日	①福祉サービス利用における事務と留意点 ②活動日誌・訪問記録簿などの記入について	①36 ②34
12月9日	地域の社会資源について	33
12月19日	①模擬カンファレンス・グループワーク ②意思決定支援について	①29 ②30

7 地域福祉を推進するための基盤づくり

(1,753千円)

(1) 福祉教育推進計画に基づく福祉教育関連事業の見直し

コミュニケーションをとることに困難がある知的障がいの人たちへの理解を深め、接し方を学ぶプログラムの開発に取り組んだ。

① 「知的障がい・発達障がいについて学ぶガイドブック」の作成

[作成数]3,000部

② 知的障がい・発達障がいについて学ぶ福祉教育プログラム検討会の開催

当事者の家族や支援機関、ボランティア・NPO団体、企業関係者、公民館等からなる検討会を組織し、プログラムの開発に関して検討を重ねた。

[知的障がい・発達障がいについて学ぶ福祉教育プログラム検討会]

実施日	審議事項等
〈第1回〉 10月18日	・福祉教育プログラム検討会の全体イメージ ・知的障がい・発達障がい疑似体験プログラムデモンストレーション ・ガイドブックの骨格について
〈第2回〉 11月17日	・開発プログラムのメインターゲットについて ・疑似体験について ・ガイドブックの骨格案について
〈第3回〉 12月13日	・疑似体験について ・ガイドブック骨格案について
〈第4回〉 1月30日	・ガイドブック案について

(2) 地域福祉活動における個人情報共有化の推進《新規》

① 「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」の活用

27年度に作成した「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」を使用し、個人情報の保護と活用についての正しい理解を促し認識の共有化を図るとともに、地域福祉活動における個人情報取扱いのルールづくりに取り組むきっかけとなるよう、弁護士や大学教授等による出前講座を14カ所で開催した。

② 情報プラットフォームの検討

市・区・校区社協が保有する要支援者の個人情報を災害等の緊急時に有効に活用するための集約・管理方法を検討するため、先進地である糸島市社協から取組み状況の説明を受け、意見交換を行った。

8 生活困窮者への支援の推進

(23,526千円)

生活困窮者への課題解決に向けた関係機関との連携

生活福祉資金の相談時に、離職者を対象とした総合支援資金等を希望する人には、福岡市生活自立支援センターの自立相談支援事業の利用をすすめるとともに、総合支援資金などの受付を行った。また、家計や債務上の課題がある人には、他機関の相談窓口等を紹介するなど、関係機関と連携して自立に向けた支援を行った。

[28年度実績] 生活困窮者自立支援センターとの相談連携件数:159件

事業項目

1 小地域福祉活動の推進 (128,612千円)

- (1) 校区社会福祉協議会強化への支援 〈再掲〉(P. 2)[重点項目1(1)]
- (2) 校区福祉座談会の開催及び「校区福祉のまちづくりプラン(校区地域福祉活動計画)」作成の支援事業〈再掲〉(P. 2)[重点項目1(1)①]
- (3) ふれあいネットワーク活動の拡充〈再掲〉(P. 2～3)[重点項目1(1)②ア]
- (4) ふれあいサロン活動の拡充〈再掲〉(P. 3～4)[重点項目1(1)②イ]
- (5) 生活支援ボランティアの活動支援〈再掲〉(P. 4)[重点項目1(1)③ア]
- (6) 生活支援サービス創造モデル事業(委託事業)〈再掲〉(P. 4～5)[重点項目1(1)③イ]
- (7) 在宅介護者のつどい事業〈再掲〉(P. 5～6)[重点項目1(1)③ウ]

(8) 地域カフェの支援

介護をしている人や要介護者、認知症高齢者等をはじめ、誰もが気軽に参加できるような「地域カフェ」の立ち上げ・運営の相談に応じ、地域住民や地域団体、公民館、地域の事業所・施設等との連携・協力体制づくりに向けたコーディネートの支援をした。

(9) 安心情報キット、緊急時連絡カードの配付

かかりつけの病院や緊急連絡先等の情報を書いたカードを筒に入れて冷蔵庫で保管することができるキットを一人暮らしの高齢者や障がい者等の地域で見守りが必要な人に配付した。

[配付者数]911人

また、見守り活動のツールとしても活用できる緊急時連絡カードを配布した。

[配布数]6,384枚

(10) 民生委員児童委員協議会との連携

共に地域福祉を推進する民生委員・児童委員の活動を支援するため、民生委員児童委員協議会への活動費を助成した。

2 ボランティアによる社会参加の拡大 (47,460千円)

- (1) 社協ボランティアセンターの機能強化〈再掲〉(P. 6)[重点項目2(1)]
- (2) シニアボランティアに関する取組みの拡充〈再掲〉(P. 6～8)[重点項目2(2)]
- (3) 企業市民育成事業の実施《新規》〈再掲〉(P. 8)[重点項目2(3)]
- (4) ボランティア活動情報の収集・提供

公的なサービスでは対応できない多様な生活課題を抱える人たちを支援するため、ボランティアをはじめ、関係機関へ働きかけるとともに、ボランティア活動希望者が実際の活動に結び付くよう支援した。

① ボランティアコーディネーション事業

ア 個人ボランティア活動相談・登録 (件)

㊦活動相談(合計)	㊧対応状況	相談のみ	マッチング率(㊧÷㊦)
550	381 (登録251、活動先紹介130)	83	69.3%

イ ボランティア依頼 (件)

㊤依頼合計	㊦対応	のべ対応ボランティア数	マッチング率(㊦÷㊤)
2,842	2,581	7,137	90.8%

[依頼内容]

内容	件数	内容	件数	内容	件数
外出付き添い	680	遊び相手	95	身体介助	4
話し相手	511	点訳	118	訓練	1
日常生活援助	450	家事援助	98	その他	162
施設・団体の行事援助	423	朗読	21		
技術・学習指導	254	託児	25		
合 計					2,842

ウ 登録ボランティア内訳

	28年度新規登録(人)	現登録(人)
個人ボランティア	251	1,656
ボランティアグループ	19 団体・372	180 団体・4,327

- ② 施設等ボランティアニーズ調査
「施設ボランティア募集情報」「バザー用品等募集情報」作成
- ③ ボランティア情報紙「風」発行
〔発行回数〕6回(偶数月発行)
〔発行部数〕2,369～3,533部/回
- ④ 芸能グループ情報冊子発行
〔発行部数〕120冊

(5) 各種ボランティア養成講座の充実

多様な生活課題に応えるため、一定の知識や技術を必要とするボランティアを、各種講座を通じて育成した。また、ボランティアグループの活動を支援した。

① 技術ボランティア養成講座

主に、視覚障がい者を対象とした技術を要する活動に参加するボランティアを養成するための講座を開催した。

実施日	講座内容	受講者(人)	活動開始者(人)
6月2日～7月7日(全5回)	音訳(朗読)	19	11
9月3日～9月17日(全3回)	外出支援	22	15
1月13日	点訳(フォローアップ)	78	-
1月14日～15日	音訳(朗読)(フォローアップ)	6	-

② シニアボランティア講座(シニアアシストふくおか事業)〈再掲〉(P. 7)[重点事業2(2)②]

③ 課題別ボランティア養成講座

公的サービスでは対応することが難しい、多様な生活課題を抱える人の支援を行うボランティアを養成した。

実施日	講座内容	受講者(人)	活動開始者(人)
6月4日～27日(全4回)	高齢者の外出支援	14	8
2月4日・5日	バリアフリー映画支援	9	5

④ 企業のための社会貢献セミナー

企業が地域の一員として果たすべき役割と社会的責任への理解と認識を新たにし、積極的な社会貢献・ボランティア活動への参画を促すため、企業や勤労者を対象にセミナーを開催した。

実施日	内容	受講者(人)
10月7日	講演「あの日、熊本で何が起きたか、これから何ができるか」及び事例報告	32

⑤ 「勤マルの日」事業

誰もが気軽に参加できるボランティア活動拠点を設定し、企業などが独自に企画した自主活動とあわせて行うイベント「勤マルの日」(一斉ボランティア実行Day)事業を、NPOふくおかと福岡県経営者協会と共催した。

実施日	会場	参加者(人)
11月19日	福岡県内14か所(福岡市博物館、舞鶴公園、九州がんセンター、アイランドシティ、楯の松原、九州大学病院、生の松原、風かおるハーブガーデン、東領公園、警固公園、葦の家、八女市上陽町、海の中道海浜公園、岩屋海岸)	562

⑥ シニア地域サポーター養成事業〈再掲〉(P. 6～7) [重点項目2(2)①]

⑦ 社会福祉施設等ボランティアコーディネーター研修会

福祉施設等のボランティア受入体制の整備・充実を図るため、施設・病院等のボランティア担当者を対象とした研修会を実施した。

実施日	テーマ	受講者(人)
2月10日	ボランティアとの関係や施設職員間において有効なコミュニケーションについて	48

(6) 登録ボランティアグループへの支援

登録ボランティアグループの活動の推進・充実を図るため、状況の把握、課題解決の支援を行った。

① 登録ボランティアグループの状況調査

「センター登録ボランティアグループ一覧」を作成した。

② 活動拠点・資材・情報の提供

[内容] ボランティアルームなどの活動室、印刷室等を貸し出した。

[件数] 3,282件(延べ18,889人利用)

③ 福岡市ボランティア連絡協議会への支援

[助成金] 100,000円

④ 在宅視覚障がい者サービス事業等

点訳、音訳ボランティアグループが使用する機材の購入、メンテナンスを行った。

⑤ 助成金ニュースの発行

登録グループの活動を支援するため民間助成事業をとりまとめた「民間助成情報ニュース」を隔月で発行し、登録ボランティアグループへ情報を提供した。

⑥ 芸能ボランティアグループ情報の動画配信

福祉施設などで活動している芸能ボランティアグループの活動内容を知らせるため、41団体の芸能グループの動画を配信した。

⑦ ボランティアリーダー研修会

実施日	テーマ	受講者(人)
3月9日	ボランティアグループのための民間助成活用セミナー	25

(7) 災害ボランティア活動の推進

熊本地震被災地でのボランティア活動を支援するため、福岡市NPO・ボランティア交流センターあすみんと共催し、研修会の開催とボランティアバスの運行を行った。

また、防災を啓発するための研修会を災害NPOボランティアと共働し実施した。

① 熊本地震被災地でのボランティア活動支援

ア 災害ボランティア講座

実施日	内容	受講者(人)
4月26日 4月28日	災害ボランティアセンターの立ち上げ状況等についての報告、災害ボランティアの心構え	413

イ 被災地の人々を応援するボランティアプログラム（ボランティアバス）

[実施日]6月5日、6月10日※6月19日は悪天候のため中止

[参加数]61人

ウ おもちゃの図書館全国連絡会主催の移動おもちゃ図書館への支援

[実施日]8月6日

[支援内容]職員の派遣および車両によるボランティアやおもちゃの運搬

エ 災害ボランティアセンターの運営支援

熊本県社会福祉協議会からの要請に基づき職員を派遣した。

期間	内容	延べ派遣人員(人)
4月21日～8月1日	「災害ボランティアセンター」の立ち上げ並びに運営支援、ボランティアの受入、活動調整。	146(第1～第22次派遣)

② 防災イベント（関係機関との共働）への参加

ア 防災どんたく

実施日	会場	内容
3月5日～3月20日 (全6回)	イオンモール香椎浜 他4か所	地域防災活動の事例発表や救急救命法教室や防災体験教室の開催など

イ 福岡市市民総合防災訓練

実施日	会場	内容
12月6日	マリンメッセ福岡	パネル展示

③ 災害ボランティア講座の開催

実施日	内容	受講者(人)
3月11日	・講話「住民自治による避難所運営 熊本地震後3週間の地域拠点の実践」 ・活動報告「熊本地震 被災者支援の現状と課題」	37

3 生活課題解決モデルの開発

(36,243千円)

- (1) 移動支援・買物困難者支援の仕組みづくり《新規》〈再掲〉(P. 8) [重点項目3(1)]
- (2) 市民が支える住み続ける仕組みづくり(住まいサポートふくおか)〈再掲〉(P. 8~9) [重点項目3(2)]

(3) 高齢者住宅相談支援事業の実施

民間賃貸住宅を探している高齢者に対し、物件情報や生活支援サービスに関する情報を提供した。また、希望者へは物件内覧時の同行サービスを有料で実施した。

[相談件数] 112件

(4) 「地域の子ども」プロジェクト《新規》〈再掲〉(P. 9~10) [重点項目3(3)]

(5) ファミリー・サポート・センター事業の拡充(福岡市委託事業)

子育て家庭が地域の中で孤立することなく、安心して子育てができるよう、地域において子育てを「応援して欲しい」「応援したい」人を組織化し、会員制による相互援助活動を広めた。

[会員登録状況]

(人)

依頼会員	提供会員	両方会員	合計数
6,008	1,098	876	7,982

[活動内容及び回数]

(回)

	活動内容	回数
1	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	3,292
2	子どもの習い事等の場合の援助	1,937
3	保護者等の買い物等外出の場合の援助	1,281
4	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	1,031
5	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	1,003
6	(その他)保育所・幼稚園の迎え 保育所・学校等休み時の援助 小学生の放課後の預かり(送迎含む) 障がい児のサポート等	5,412
	合計	13,956

[講習会・交流会等の実施]

- ・依頼会員登録講習(支部:月~金曜日、本部:第3土曜日)
- ・提供・両方会員養成講習会(5回、受講者延べ796人)
- ・フォローアップ講座(2回、受講者延べ61人)
- ・会員交流会(12回、参加者延べ243人)
- ・活動未体験会員のための「あずかりっこ」(9回、参加者延べ154人)
- ・会員リーダー連絡会の実施(1回)

(6) 子育てサロン・サークルの支援

子育てサロン・サークル活動の内容充実や、子育て相談の場を設けることを目的とした、子育てサロン・サークルへの保育士派遣事業や講師派遣事業を実施した。

(7) 心配ごと相談所の開催

民生委員・児童委員、福岡県弁護士会及び行政書士の協力を得て、市民の日常生活上のさまざまな相談に応じ、適切な助言、援助を行うことでその人らしい暮らしを支える「心配ごと相談所」を開催した。

〔実施日時・開催日数〕

種別	曜日	時間	相談員	開催数(日)
一般相談	月	10～16	民生委員児童委員	45
法律相談	水	13～16	弁護士	49
遺言・相続・離婚・成年後見に関する相談	金	13～16	行政書士	50

〔相談状況〕

(件)

種別	件数	種別	件数	種別	件数
財産	89	住宅	21	医療・保健	5
家族	46	生計・年金	12	職業・生業	4
結婚・離婚	65	福祉	4	事故	5
人権・法律	24	苦情	1	その他	27
合計		303	1日平均		2.1

〔相談結果〕

(件)

	相談所解決	継続	民生委員紹介	他機関紹介	その他	合計
件数	240	0	1	59	3	303

(8) 福祉用具リサイクル斡旋事業の実施

不用になった福祉用具を「譲りたい人」と福祉用具を「必要とする人」との斡旋を行い、福祉用具のリサイクルを推進するとともに、福祉用具の普及と在宅介護の負担軽減を図った。

〔登録〕

(件)

	車いす・電動車いす	ベッド・電動ベッド	歩行支援用具	その他	合計
提供希望者(人)	29	7	3	15	54
譲受希望者(人)	44	17	3	10	74

〔斡旋〕

(件)

成立	取り下げ	待機中
62(31組)	54	34

(9) 車いす、リフトカーの貸出

① 車いすの貸出

歩行が困難な高齢者、障がい者等の社会参加等の機会拡大のため車いすを貸し出した。

〔貸出件数〕208件(延べ台数733台)

② リフトカーの貸出

歩行が困難な高齢者、障がい者等の社会参加等の機会拡大のために、リフトカー2台を貸し出した。

〔貸出件数〕114件(延べ日数172日)

- 4 拠点型地域福祉の推進 (2,299千円)
- (1) 社会福祉法人(施設や事業所を運営する)による地域における公益的な取組みに向けての協働
〈再掲〉(P.10) [重点項目4(1)]
- (2) 遺贈と空き家の活用による地域福祉の拠点づくり〈再掲〉(P.10) [重点項目4(2)]
- 5 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化 (256,948千円)
- (1) CSW配置体制の強化〈再掲〉(P.10) [重点項目5(1)]
- (2) 生活支援コーディネーター業務(委託事業)の実施によるCSWの機能強化《新規》〈再掲〉(P.11) [重点項目5(2)]
- 6 権利擁護事業の拡充 (123,936千円)
- (1) 日常生活自立支援事業〈再掲〉(P.11) [重点項目6(1)①]
- (2) 法人後見事業〈再掲〉(P.12) [重点項目6(1)⑤]
- (3) 後見制度の推進〈再掲〉(P.12) [重点項目6(1)⑤]
- (4) ずーっとあんしん安らか事業〈再掲〉(P.11) [重点項目6(1)②]
- (5) やすらかパック事業《新規》〈再掲〉(P.12) [重点項目6(1)④]
- 7 地域福祉を推進するための基盤づくり (281,861千円)
- (1) 地域福祉活動における個人情報共有化の推進《新規》〈再掲〉(P.13) [重点項目7(2)]
- (2) 福祉学習の推進(福祉学習教材の提供、出前福祉講座)
- 学校や、地域、市民、企業に対し、福祉についての学習の機会や教材等を提供し、理解と関心を高め、福祉活動への参加の動機付けを図った。
- ① 福祉学習教材の提供
- ア 中学生向けボランティア活動教材
「わたしもあなたもボランティア」のホームページへの掲載
- イ 福祉体験学習マニュアル「福岡市の福祉教育お役立ちBook」
[配布先]市内の小中学校
[作成数]270部
- ② 出前福祉講座
福祉やボランティア活動の理解を深めるため、学校、企業等に出向き、障がい者疑似体験、高齢者疑似体験等を行う出前福祉講座を実施した。
[件数]38件
[対象]公民館、学校、企業、地域団体等
- (3) ホームページや広報紙を通じた情報発信
- ① 広報紙「ふくしのまち福岡」の発行
福祉に関する様々な情報や本会事業、その他福祉やボランティアに関する情報を広く市民に紹介し、福祉に対する意識の向上を図るため、広報紙を発行・配布した。
[発行回数]2回(第114号・第115号)
[発行部数]17,000部/回
- ② ホームページの運営
本会が行う福祉活動や幅広い福祉の情報を周知するため、ホームページにより最新情報の発信を行った。
[アクセス数]239,312件/年

(4) 福祉のまちづくり推進大会の開催

市民や福祉関係者を対象に、福祉功労者の表彰や福祉活動の紹介、記念講演の実施を通じて、市民一人ひとりの福祉についての関心を高めるきっかけを作った。

実施日	会場	内容	参加者(人)
11月9日	福岡市民会館	「子どもの貧困とひとりぼっちのないまちづくり～地域だからできる子どもの貧困対策～」 講師:幸重 忠孝 氏(幸重社会福祉士事務所代表)	1,800

(5) 市民福祉プラザの運営

市民福祉プラザの指定管理者(本会を代表構成団体とする(株)旭商会との共同事業体)として、市民が安心して利用できるように管理運営を行うとともに、入居団体等と連携して研修や啓発事業、相談事業等を実施し、市民の福祉への理解や福祉活動への参加を支援した。

① 貸室運営

市民福祉プラザの各種施設を福祉関係団体や障がい者、高齢者等の市民が十分活用できるように管理運営を行った。

[施設全体の利用延人数] 299, 854人(詳細は別表2(P.33))

② 障がい者作品展、利用団体写真展等の実施

ア 障がい者作品展

障がい者福祉の啓発を図るため、障がい者週間にあわせて喫茶室内及びロビーで福祉団体・施設から寄せられた絵画や写真などを展示した。

[実施日]12月1日～27日 [参加数]5施設・団体、52作品

イ ふくふくプラザ写真展

写真を趣味としてプラザを利用している高齢者団体や障がい者団体等を対象に、生きがい活動の支援と利用団体相互の交流を図ることを目的に、写真展を開催した。

[実施回数]6回(延べ87日間) [参加数]10団体、202作品

ウ 一人親家庭親子クッキング教室

料理を通じて親子のコミュニケーションを図るとともに、食事の大切さ、食を通じて生きる力を育むことや健康・福祉の増進について学ぶことを目的に、一人親家庭親子クッキング教室を開催した。

[実施日]7月24日 [参加数]10家族(応募数66家族)

エ デジカメ写真入門講座 in ふくふくプラザ

高齢者の社会参加を図ることを目的に、趣味として写真を始めたい人を掘り起こし、写真の知識や楽しさを学ぶデジカメ写真入門講座を開催した。

[実施回数]3日間 [参加数]23人

③ 福祉映画鑑賞会の開催

障がい者も一緒に鑑賞できる副音声や字幕入りの福祉映画鑑賞会を開催し、市民の福祉意識やボランティア意識の高揚を図った。

開催日	内容	来場者(人)
8月27日	映画「なつやすみの巨匠」	179

④ みんなでふくし&ふくふくプラザバリアフリー映画祭の開催

市民福祉プラザを、福岡市における民間福祉団体の活動拠点として、広く市民に周知するとともに、福祉活動の啓発を図るため、福祉関係団体や地元地域団体、民間企業等の協力を得て、バリアフリー映画を柱に、各種イベント、研修、展示即売会などを行った。

開催日	参加団体・企業	来場者(人)
12月10日	17団体・2社	1,770

⑤ とうにん・ふくふくコンサートの開催

ふくふくホールの「音響の良さ」を十分に活用し、「どなたでも良質な音楽を楽しめる」音楽会を、当仁校区自治協議会、当仁公民館、学校等と共催して開催した。

[開催回数]10回 [参加者合計]1,650人

⑥ プラザ利用団体、地域団体等との懇談会

入居団体やプラザ利用団体と、施設運営に関する意見交換を行い、意見をふまえてプラザ運営の改善を行った。また、地域団体との懇談会を開催し、地域とプラザの情報を共有し共通の問題等について協議した。

ア プラザ入居団体連絡会(年6回)

イ 視覚障がい者団体やボランティアグループ等との懇談会(年1回)

ウ 当仁校区自治協議会連絡会への参加(年8回)

エ 団体連絡室利用団体との懇談会(年1回)

(6) 市民福祉講演会の開催

「孤立死」「高齢者問題」等、市民に関心が高いテーマを選定し、市民へ福祉の啓発と福祉事業への理解を図ることを目的に講演会を開催した。

実施日	内容等	参加者(人)
<第1回> 6月24日	「無縁社会とどう向き合うか～地域における見守りと支えあい活動の大切さ～」 講師:板垣 淑子 氏 (NHK 大型企画開発センター チーフ・プロデューサー)	224
<第2回> 9月15日	「聞こえていますか!子どもと親の叫びを!」 ～中卒児で、家庭環境によって自立困難な子どもへの支援～ 講師:平原 義行 氏(特定非営利活動法人 青少年の自立を支える福岡の会 理事長)	227
<第3回> 11月29日	「ぼけても普通に暮らしたい～安心して老いるために～」 講師:村瀬 孝生 氏 (特別養護老ホーム よりあいの森 施設長)	211

(7) 福祉図書・情報室の運営

① 利用状況

内容	図書	ビデオ・DVD	インターネット貸出延長
蔵書数	30,982 冊	1,195 本	
利用状況(貸出数)	11,798 冊	997 本	613 件

[延利用者数] 38,496人(新規登録者数487人)

[レファレンス数(調べもの相談)]851件

② 対面朗読サービス

視覚障がい者などが情報を得る方法の一つとして、福祉図書・情報室で登録ボランティアによる「対面朗読サービス」を提供した。

[延利用者数]298人

(8) 福祉に関する調査・研究事業

① 福祉に関する調査

高齢者福祉施設と、地域の関係についての実情、施設側から関係をつくる際の課題や問題点等を把握・分析することにより、地域との関係強化や協働を進めるための要件や工夫を明らかにすること、並びに社会福祉法の一部改正への取組状況等を把握することを目的に調査を行った。

[調査対象施設]432施設
 [有効回答数]175施設(40.5%)

(9) 福祉バス事業 (福岡市委託事業)

老人クラブ、障がい児・者団体等の社会参加を支援するため、福祉バスの利用申込受付、旅行代理店への配車予約等を行った。

[受付台数] (台)

老人クラブ	障がい児・者団体	児童福祉施設	その他	合計
390	120	9	113	632

(10) 社会福祉事業従事者研修

福祉に関する知識や技術、組織の中での役割等についての理解を深めるため、民間社会福祉施設従事者や社会福祉関係団体職員を対象とした研修を実施した。

研修対象	研修事業名	受講者(人)
民間社会福祉施設従事者 社会福祉関係団体職員等	新任職員研修 I【社会1年目】(2日間)	61
	〃 II【社会2～3年目】(2日間)	70
	中堅職員研修(2日間)	64
	リーダー研修(指導的職員研修)(2日間)	46
	福祉施設等職員のための「地域とのつながり」講座	59
	相談面接技術研修	69
	救急法研修(3回実施)	197
	福祉レクリエーション研修(3回実施)	244
	人権研修	78
	接遇研修	84
合計		972

(11) 福岡市民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業

民間社会福祉施設などの職員の福利厚生の充実に目的に、加入職員のニーズにあわせて事業を企画し、実施に努めた。

(詳細については、別表1(P.31～32))

加入契約法人数	施設数	加入職員数(人)
126	174	4,490

(12) 福岡市保育士人材確保事業《新規》

福岡市内の保育所等で働く保育士が育児休業や産後休暇から復帰する際や、保育士資格を有するが保育士として勤務していない人(潜在保育士)への再就職支援のための貸付事業を実施し、保育士人材の確保を図った。

① 未就学児がいる保育士の子どもの保育料の一部貸付事業

貸付件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額(円)
38	8,162,025	5,768,775

② 就職準備金貸付事業

貸付件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額(円)
17	3,612,406	3,612,406

(13) 福岡市ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業《新規》

「高等職業訓練促進給付金」を活用して養成機関に在学し、将来福岡県内において取得した資格を活かして就職しようとする、「ひとり親家庭の親」に対して入学と就職準備金の貸付を行った。

貸付種類	貸付件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額(円)
入学準備金	15	7,500,000	7,500,000
就職準備金	14	2,800,000	0

(14) 福祉の職場合同説明会

老人福祉施設職員による職場説明会を開催し、高齢者への福祉・介護サービスに対する理解と関心を高めるとともに、人材確保の促進を図った。

(主催)市社協 (共催)福岡市老人福祉施設協議会

実施日時	参加法人数	来場者(人)
7月23日・24日 各13時～16時	36	67

(15) 福岡市児童福祉施設球技大会

乳児院や児童養護施設に入所する児童の福祉向上に寄与することを目的に球技大会を開催した。

(主催)福岡市乳児院児童養護施設協議会(共催)福岡市、福岡市社会福祉協議会
(参加施設)和白青松園、福岡育児院、福岡子供の家

実施日	会場	種目
6月19日	博多体育館	バレーボール
6月26日	和白青松園グラウンド	軟式野球

(16) 社会福祉士相談援助実習受入

福祉分野で活躍する人材を育成するため、社会福祉士資格取得を目指す実習生の受入を行った。

[期間]8月18日～9月16日 24日間

[人数等]1人(筑紫女学園大学)、2人(久留米大学)

(17) 施設整備利子補助事業

社会福祉事業の振興を図るため、施設が福祉医療機構から借り入れた資金の利子支払いに対して、補助金を交付した。

[対象]55法人・56施設

[補助金額]13,331,595円

(18) 共同募金、寄付金を活用した福祉のまちづくりの推進(共同募金配分、奉仕銀行等)

① 校区社協への活動支援(共同募金配分事業)

区社協と協働し、校区の特性や実情に即した福祉活動を推進するために共同募金配分金を財源として、校区社協の事業運営を支援した。

[助成額]55,107,095円

② 奉仕銀行運営事業

本会や市に寄せられた寄付金(補助金)を財源に、奉仕銀行配分金として団体・施設に配分を行った。また、本会への寄贈物品を受け入れ、配分先の仲介を行った。

	内容	件数	金額(円)	備考
受入	寄付金	190 件	2,945,691	介護支援ボランティア事業のポイント換金寄付 156 件を含む
配分等	奉仕銀行の配分	10 団体	1,331,337	5 団体・施設に対し、施設整備費や新規事業費として配分
	施設への仲介等	50 件	—	野球試合招待、演劇・定期演奏会招待、プロレス招待、車いす等

③ 「福岡市母子福祉会芙蓉基金」ひとり親家庭等福祉振興助成事業

ひとり親家庭等が孤立することなく生活できる地域づくりを支援することを目的として、ひとり親家庭等の福祉を増進し地域で支える取組みに対し、助成を行った。

[助成団体]9団体 [助成金額]1,084,327円

④ 「高齢者福祉推進基金」助成事業

高額寄付者の寄付金を財源にした「高齢者福祉推進基金」により、高齢者デイサービスの入浴設備の改善に関し、必要な経費を配分した。

[助成事業所]2施設 [助成金額]1,830,000円

⑤ 歳末たすけあい運動募金配分事業

歳末たすけあい運動募金の配分を受け、福祉作業所の利用者等に対し、見舞金を贈呈した。また、校区社協等の団体が歳末時期に実施する事業の経費を助成した。

事業区分	対象者・団体	件数
助成事業	子育て支援団体	182
	障がい児者支援団体	90
	社会的課題支援団体	9
	交通遺児支援団体	1
	里親会支援団体	1
	福祉作業所等	12
見舞金品贈呈事業	ホームレス支援団体 (使い捨てカイロ)	6 (950パック)

8 生活困窮者への支援の推進

(39,977千円)

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に、それぞれの世帯の状況や必要に応じた資金の貸付けを行い、低所得者等の経済的自立と生活意欲の助長や在宅福祉、社会参加の促進を図った。

① 貸付件数

資金種類	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
福祉資金	102	29,614,000	23,260,374
教育支援資金	595	589,096,500	54,579,430
緊急小口資金	156	15,696,000	6,822,680
総合支援資金	50	20,639,312	26,088,383
不動産担保型生活資金	2	29,549,800	44,875,101
合計	905	684,595,612	155,625,968

福岡県社協が事業の主体となっており、福岡市社協では貸付の相談及び受付を行っている。

② 年度別相談件数

資金種別	28年度
福祉資金	1,362
緊急小口資金	1,370
教育支援資金	2,525
総合支援資金	580
不動産担保型生活資金	175
貸付対象に非該当	1,014
合計	7,026

③ 生活福祉資金貸付調査委員会の開催

開催日	審議事項等	出席者(人)
4月22日	1.生活福祉資金貸付審査 2.生活福祉資金貸付申請に関する報告	7

④ 臨時特例つなぎ資金

住居のない離職者を対象に、公的給付制度が給付されるまでの生活に必要な資金の貸付を行った。

相談:26件、受付:3件、決定:2件、貸付総額:200,000円

(2) 福岡市生活保護世帯等一時貸付金事業（福岡市委託事業）

生活保護世帯や低所得世帯の緊急時の出費等に対する貸付を行った。

	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
生活保護世帯分	2,335	29,685,500	28,612,000
支援給付分	0	0	0
低所得世帯分	0	0	40,000
離職者緊急支援つなぎ分	0	0	2,000
合計	2,335	29,685,500	28,654,000

※離職者緊急支援つなぎ資金の貸付は、平成21年2月5日から平成21年9月末まで実施した。

9 運営等及びその他

(213,540千円)

(1) 会務の運営（理事会・評議員会）

① 理事会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人)
<第190回> 5月6日	・評議員の委嘱について	18
<第191回> 5月27日	・平成27年度事業報告 ・平成27年度収支決算 ・経理規程の一部改正案 ・平成28年度資金収支補正予算案 ・第5期地域福祉活動計画案	16
<第192回> 10月17日	・評議員の委嘱について	15
<第193回> 12月2日	・平成28年度資金収支補正予算案 ・定款の変更案 ・定款施行細則の一部改正案 ・福岡市からの指導監査結果報告	18
<第194回> 2月1日	・評議員選任・解任委員会運営細則の制定並びに同委員会委員の選任 ・評議員選任・解任委員会の報酬に関する規程の制定 ・評議員選任候補者の推薦	17
<第195回> 3月2日	・評議員選任候補者の推薦	17
<第196回> 3月29日	・経理規程の一部改正案 ・平成28年度資金収支補正予算案 ・平成29年度事業計画案 ・平成29年度資金収支予算案 ・定款の一部変更案 ・事務局の組織及び事務分掌規程の一部改正案 ・定款施行細則の一部改正案 ・会員規程の一部改正案 ・職員就業規則の一部改正案 ・福祉サービス苦情解決第三者委員の選任	17

② 評議員会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人)
〈第184回〉 5月27日	・平成27年度事業報告 ・平成27年度収支決算 ・平成28年度資金収支補正予算案 ・第5期地域福祉活動計画案	49
〈第185回〉 10月17日	・理事の選任について ・監事の選任について	46
〈第186回〉 12月2日	・平成28年度資金収支補正予算案 ・定款の変更案	52
〈第187回〉 3月29日	・平成28年度資金収支補正予算案 ・平成29年度事業計画案 ・平成29年度資金収支予算案 ・定款の一部変更案 ・理事の選任	40

③ 評議員選任・解任委員会の実施

実施日	内容等	出席者(人)
3月13日	評議員の選任	5

④ 監査の実施

実施日	監査事項等	出席者(人)
5月16日	業務執行の状況及び財産の状況を監査	3

(2) 職員の資質の向上と人材育成（職員研修、資格取得への支援）

職員研修体系に基づいた職員研修を実施するとともに、社会福祉士等の資格取得を支援し職員の資質と専門性の向上に努めた。

(3) 人事評価制度の実施

人事評価制度に基づき、人事考課を実施し、職員の育成や配置等に活用した。

(4) 財源の確保（会員の拡充、寄付つき商品の開発等）

福岡市ボランティア活動振興基金の管理運営を行うとともに、ホームページのバナー広告など自主財源の確保に努めた。

① ファンドレイジング（寄付つき商品の開発）

社会貢献を希望する企業等とともに、本会への寄付つき商品を開発した。

※平成25年7月事業開始からの累計 2,067,500円

企業名	寄付内容	実績
株式会社ラック 覚書締結日:H25.6.18	「ずーっとあんしん安らか事業応援プロジェクト」 西日本典礼での葬儀1件実施につき200円。	1,202件 240,400円
ゼブラ株式会社 覚書締結日:H25.12.16	「福岡を良くする『寄付つき文房具』作成販売」 大学(西南学院大学・九州産業大学)の売店で販売し、1本につき5円(社協3円・共同募金会2円)。	2,000本 6,000円

翼行政書士・ 社会福祉士事務所 覚書締結日:H26.12.4	「ずーっとあんしん安らか事業応援隊・翼」 新規相談・依頼1件につき200円。	192件 38,400円
株式会社友心 覚書締結日:H27.6.2	「セカンドライフ応援隊～ずーっとあんしんこれから人生～」 遺品整理・特殊清掃1件につき2,000円	52件 104,000円
九州通信ネットワーク 株式会社 覚書締結日:H28.5.19	「社会をよくする自販機プロジェクト」 自販機売り上げ1本につき10円	41,450件 414,500円
協文社印刷 株式会社 覚書締結日:H28.3.31	「サポートよくするプロジェクト」 封筒1物件につき150円	138件 20,700円
合計		824,000円

② ボランティア活動振興基金の造成

ボランティア活動振興のために設置した基金に寄付等を積み立て、ボランティア活動を推進するための財源確保に努めた。

内訳	件数	金額(円)
奉仕銀行ボランティア特定寄付金	0	0
福岡市ボランティア活動振興基金補助金	—	302,000
合計		302,000

〔平成28年度末基金額〕652,850,711円

③ その他の財源の確保

内訳	件数	金額(円)
会費(正会費・賛助会費)	62	327,000
ホームページバナー広告	8	230,000
車いす等貸出料	37	61,150
外部講師謝礼	30	521,959
実習生受入謝礼	2	108,000
使用済み切手売却益	—	345,850
合計	139	1,593,959

(5) 収益事業の実施(市民福祉プラザレストラン運営、自動販売機の設置)

① プラザのレストラン運営及び自動販売機の設置

プラザ利用者の利便性を図るとともに、収益金をプラザ福祉啓発事業及び本会事業に活用した。

② プラザ相談窓口研修会の開催

実施日	内容	受講者(人)
11月29日	「傾聴～明日から相談に役立つ3つのヒント～」	44

(6) その他の社協事業

① 戦災引揚死没者追悼式

昭和20年6月19日の福岡大空襲による戦災死没者及び海外からの引揚げの途中で亡なられた人のご冥福を祈り、恒久平和への誓いを新たにすため、地域団体とともに追悼式を実施した。

実施日	会場	参加者(人)
6月19日	福岡市戦災記念碑前(博多区冷泉公園内)	171(うち、遺族35)

② 福岡市社会福祉協議会顕彰

社会福祉増進のため意欲的に活動を続け、その功績が顕著な個人、団体に対し「福岡市福祉のまちづくり推進大会」にて表彰を行った。

[福岡市社会福祉協議会会長 表彰]197人・35団体

[福岡市社会福祉協議会会長 感謝状]113人・33団体

③ 老人の日関連事業

「老人の日」を記念して、高齢者に対し敬愛の念を示し、100歳を迎える高齢者に祝状と記念品を福岡市とともに贈呈した。

④ 福祉サービス苦情解決

本会が実施する福祉サービスの内容をより充実するため、利用者の苦情や意見を幅広く汲み取り、苦情解決に取り組んだ。

⑤ 友愛訪問事業

福岡市老人クラブ連合会の友愛訪問事業に対し、活動費の助成を行った。

⑥ 全九州電力労働組合福祉基金事業

平成9年に九州社会福祉協議会連合会へ寄せられた全九州電力労働組合からの寄付金を財源として基金を創設し、事務局として本会が管理を行い、27・28年度の運用利益を九州ブロック地域福祉研究会議(宮崎県で開催)の開催経費として宮崎県社協へ送金した。

⑦ 更生保護施設助成事業

更生保護の推進を目的とした活動を行っている団体に対して、補助金を交付した。

[対象]3団体

[補助金額]1,830,000円

⑧ ふれあい入浴事業

高齢者の健康増進や交流を目的とする「ふれあい入浴事業」の活動を支援するため、市内の公衆浴場に対し福岡市の補助金を財源として事業費の助成を行った。

[助成箇所数]13か所

[助成額]4,800,000円

⑨ 視察の受入

団体等からの依頼に応じて視察の受入を行った。(延べ39団体、589人)

詳細は、別表3(P.34)

⑩ 講演等の依頼

団体等からの依頼に応じて講演等を行った。(延べ32団体、1,031人)

詳細は、別表4(P.35～36)

【別表1】

福岡市民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業 事業実施状況

(1) 給付事業

内容		決算額	
種別	単価(円)	件数	金額(円)
結婚祝金	30,000	134	4,020,000
出産祝金	30,000	118	3,540,000
入学祝金	30,000	176	5,280,000
義務教育修了祝金	30,000	81	2,430,000
死亡見舞金		61	1,748,000
本人	100,000	1	100,000
被扶養者	70,000	2	140,000
その他	26,000	58	1,508,000
傷病見舞金	40,000	9	360,000
災害見舞金		0	0
全焼(壊)	100,000	0	0
半焼(壊)	70,000	0	0
その他	30,000	0	0
小計		579	17,378,000
退会一時金	支給率で算出	657	61,742,903
合計		1,236	79,120,903

(2) 貸付事業

内容		決算額	
種別	貸付限度額(円)	件数	金額(円)
生活資金		6	1,100,000
5年未満	120,000	0	0
5年以上10年未満	150,000	0	0
10年以上	200,000	6	1,100,000
慶弔資金	250,000	0	0
医療資金	250,000	0	0
入学資金		6	2,800,000
高校	250,000	0	0
大学	500,000	6	2,800,000
罹災資金	500,000	0	0
合計		12	3,900,000

(3) 長期加入職員記念品贈呈事業

区分		決算額	
加入期間	記念品額(円)	件数	金額(円)
5年	5,000	255	1,275,000
10年	10,000	131	1,310,000
15年	10,000	71	710,000
20年	15,000	47	705,000
25年	15,000	19	285,000
30年	20,000	8	160,000
35年	20,000	12	240,000
送料			83,430
合計		543	4,768,430

(4) 保養所事業

内容		決算額	
区分	補助額(円)	件数	金額(円)
大人	2,500	98	245,000
小人	1,200	11	13,200
合計		109	258,200

(5) 文化体育事業

内容		決算額	
区分	補助額(円)等	件数	金額(円)
文化鑑賞引換券補助	一人当たり上限 3,200 円	4,686	11,773,300
映画鑑賞補助	費用の一部	12,216	4,017,040
観劇補助	費用の約 1/3	459	1,674,300
プロ野球観戦補助	費用の約 1/3	510	1,068,741
Jリーグ観戦補助	費用の約 1/3	40	60,000
海浜プール利用補助	費用の一部	696	402,690
スポーツ施設利用補助	費用の一部	100	100,000
その他補助	費用の一部	75	195,500
合計		18,782	19,291,571

【別表2】

福岡市市民福祉プラザ 利用状況

区分		利用状況		
貸出施設	ふくふくホール	利用日数	262 日	
		利用者数	37,834 人	
	会議室(3室)	利用日数	965 日	
		利用者数	35,479 人	
	研修室(7室)	利用日数	2,210 日	
		利用者数	96,095 人	
	和室・実習室(7室)	利用日数	1,746 日	
		利用者数	43,565 人	
	交流ひろば	利用日数	238 日	
		利用者数	7,366 人	
	計	利用日数	5,421 日	
		利用者数	220,339 人	
	その他の施設	福祉用具展示場	利用者数	20,973 人
		施設見学	団体数	51 団体
利用者数			1,157 人	
ボランティアルーム等		利用件数	3,282 件	
		利用者数	18,889 人	
福祉図書・情報室		開室日数	340 日	
		利用者数	38,496 人	
		新規登録者数	487 人	
		貸出冊・本数	12,795 冊	
		対面朗読	298 人	
計		利用者数	79,515 人	
利用者総数		299,854 人		
開館日数		346 日		
1日平均利用者数		867 人		

【別表3】

視察の受入

(人)

団体名	視察内容	人数
日本学術振興会特別研究員 PD、日本建築学会高齢者・障がい者等居住小委員会、京畿道社会福祉施設(韓国)、京畿道利川市社協(韓国)、障がい者相談支援センター輪っふる、シングル総合福祉館(韓国)	住まいサポートふくおか事業	56
日本建築学会高齢者・障がい者等居住小委員会、福津市・古賀市・新宮市社協、北海道社協職員連絡協議会、可児市社協京畿道社会福祉施設(韓国)、シングル総合福祉館(韓国)、大牟田市社協・大牟田市成年後見センター、文京区社協、豊中市社協	ずーっとあんしん安らか事業	76
シングル総合福祉館(韓国)、京畿福祉財団・京畿道老福祉課(韓国)	日常生活自立支援事業	19
大牟田市社協・大牟田市成年後見センター、うきは市社会福祉協議会、札幌市社会福祉協議会	法人後見事業、市民後見人養成事業	8
日本学術振興会特別研究員 PD	成年後見事業	4
北海道社協職員連絡協議会	地域福祉ソーシャルワーカーの取組み	15
古賀市社協【※香椎浜校区】、神野校区社協(佐賀市)【※原西校区】、福津市民児協【※美和台校区】、福岡アジア都市研究所、みやま市社協【※大浜校区】、宮司地区郷づくり推進協議会(福津市)【※大浜校区】	生活支援ボランティア事業	228
前原南校区社協(糸島市)【※城浜校区】	高齢者見守り活動について(つながりマップ等)	40
嘉瀬校区社協(佐賀市)【※壱岐南校区】	見守り活動におけるサロン・カフェの取組み	17
九州経済調査協会【※片江校区】	ふれあいサロン活動	35
みやき町ボランティア連絡協議会【※周船寺校区】	要援護者避難訓練について	30
久留米市社協	ボランティアセンター事業	3
福岡アジア都市研究所	シニアアシストふくおか事業	11
韓国老力開発院、福岡アジア都市研究所	介護支援ボランティア事業	14
又石大学校(韓国)、津和野市健康福祉課	ファミリー・サポート・センター事業	28
国立社会保障人口問題研究所	ファミリー・サポート・センター事業、保育士人材確保事業ほか	3
神戸女性大学・韓国老人生活科学研究所	ずーっとあんしん安らか事業、住まいサポートふくおかほか	2
合計		589

※は受入校区

【別表4】

講演等の依頼

(人)

団体名	講演内容等	人数
福岡市介護保険事業者協議会	在宅サービス部会研修会「地域との連携」	50
福岡県スクールソーシャルワーカー協会	「子どもの居場所づくりとソーシャルワーク」	120
認定NPO 法人障がい者より良い暮らしネット	今こそ考えよう 共生(インクルーシブ)教育「特別支援の子どもも地域の子」	100
福岡市立心身障がい福祉センター	「地域と施設・事業所との協働、仕組み作りについて」	40
福岡アジア都市研究所	『『市民総支え合い社会』』に向けての社会情報基盤整備に関する研究」におけるグループインタビュー	10
EP 編集・ライティング(取材)	天神マガジン『ep.』誌面作成「チャレンジする、ひとと場」	2
直方市上境地区地域ふれあい交流会 おしゃべり喫茶	「福岡市での地域福祉活動について」	15
福岡県立大学	「住民の主体形成のための『場』への援助技術に関する調査」	7
ふくおか福祉サービス協会	「地域福祉ソーシャルワーカーや地域活動について」	10
福岡県精神保健福祉士協会	福岡県精神保健福祉士協会福岡ブロック研修会「日常生活自立支援事業」	30
障がい者支援施設わたつみの里保護者会	保護者会研修「成年後見制度の概要」	30
うきは市社協	うきは市市民後見人養成研修「市民後見人の役割、福岡市社協の取組み」	18
南区保健福祉センター健康課	精神保健家族講座「日常生活自立支援事業、成年後見事業」	5
NPO 法人市民後見センターふくおか	成年後見実務研究会「法人後見事業の概要」	10
東区障がい者部会(東区相談支援センター)	日常生活自立支援事業	15
福岡県社会保険労務士会	成年後見研究部会「市民後見人」	22
奈良屋公民館	ボランティア講座「成年後見制度の概要、福岡市社協の取組み」	9
早良区地域包括支援センター社会福祉部会	社会福祉士部会研修「市民後見人」	10
巡回ふくおか	巡回ふくおか職員研修「日常生活自立支援事業」	13
NPO 法人そよかぜ	成年後見制度の概要、相続・遺言	15
介護総合支援センター	福岡市介護保険事業者研修「成年後見制度について」	100
西区保健福祉センター健康課	精神保健家族講座「日常生活自立支援事業、成年後見事業」	5
グループホームあすか	運営推進会議「日常生活自立支援事業、成年後見事業」	15
福岡県庁	福岡県市民後見人推進研修「市民後見に係る取組みについて」	100
福岡市介護実習普及センター	28年度介護講座①「認知症の方を守る制度」	50
	28年度介護講座②「認知症の方を守る制度」	50

団体名	講演内容等	人数
横手公民館	よこの手広場&ふれあいサロン「成年後見制度の概要」	40
中央区ケアマネ会	中央区ケアマネ研修「日常生活自立支援事業、成年後見制度」	50
福津市社協	福津市市民後見人養成講座「後見業務の実際・演習」	10
東福岡特別支援学校	青葉地域支援ネットワーク会議「成年後見制度の概要」	30
新宮町社協	新宮町市民後見人フォローアップ研修①「法人後見の概要・市民参加型後見人実践報告」	25
	新宮町市民後見人フォローアップ研修②「ロールプレイ」	25
合計		1,031